

これまでの成果や課題を踏まえ、更なる指導力の向上を図るとともに、児童生徒の「人間関係形成」、「社会参画」、「自己実現」に係る資質・能力をより育成するため、第3期研究会がそれぞれのエリアで行われました。令和6年度は、特別活動を中核とした学校づくりの拡充に向けて、新しいエリアでの事業を予定しています。

徳島市川内南小・川内中学校

第3期中央部エリア研究会
(令和5年12月4日)

◆ 学級・学校をよりよくするための話合い・実践(川内南小)

学級活動(1)・児童会活動の公開授業



◆ よりよい学校づくりに向けた校則についての話合い(川内中)

学級活動(1)の研究授業



美馬市立美馬小・美馬中学校

第3期西部エリア研究会
(令和5年12月1日)

◆ 学級の友達とさらに仲を深めるための話合い・実践(美馬小)

学級活動(1)の公開授業



◆ 自分たちで中学校での生活をよりよくするための話合い(美馬中)

学級活動(1)の公開授業



那賀町立相生小・相生中学校

第3期南部エリア研究会
(令和6年1月29日)

◆ 学級の友達とさらに仲を深めるための話合い・実践(相生小)

学級活動(1)の公開・研究授業



◆ よりよい学校づくりに向けた生活オリエンテーション(相生中)

学校行事の研究授業



「学級や学校生活をよりよくするために話し合ったり、活動したりする学級活動(学級会)」のよさは？
【児童生徒アンケートより(上段:小学校、下段:中学校)】

○みんなの意見を尊重し合って、協力しながら議題について取り組めるところ。

○自分とは違う考えを聞くことができ、少数意見もよりよく反映できるところ。

○友達の考えが分かり、学級をもっとよくするために話し合っていけるところ。

○考えを共有し、自分たちで物事を進める経験ができ、将来の役に立つところ。

○みんなで解決したり、楽しいことをしたりして、学級がよりよくなること。

○自分とは違う考えを知ることができ、みんなで問題を解決できるところ。

2年間の研究を終えて、成果があったと感じていることは何ですか？【教職員アンケートより】

○学級活動の時間を大切にして、中学校3年生の卒業時の姿をイメージしながら、小学校でも指導ができるようになった。

○特別活動の学びが深まり、教員自身の意識が変わった。授業で発言を待つ、引き出そうとする場面が全体的に増えた。

○相手の意見を大切にすることで、友達を大切にできる児童生徒が増え、協力し合う場面を多く見るようになった。

あなたの小・中学校区でも、この事業に取り組んでみませんか。詳細は3月頃、各学校へ文書でお知らせします。



令和5年度のOUR徳島特活小中連携いきいき事業に関する情報は、徳島県立総合教育センターHPの教職員支援・学校支援に掲載しています。➡【教科等の指導に役立つ情報】

ここをクリック!

ここをクリック!

小学校(中学校)特別活動